

授業概要

本授業におけるアメリカとは、アメリカ合衆国のことを指します。従って、本授業では、アメリカ合衆国の歴史を重要なテーマごとに概観することを目的とします。前半（第 1 回～第 5 回）にアメリカ合衆国についての重要概念について講義し、後半（第 6 回～第 13 回）はアメリカ合衆国とアジアの関係を軸に講義します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーションーアメリカ合衆国とは何か
第 2 回	プロテスタントの倫理とアメリカ史
第 3 回	合衆国憲法と政教分離
第 4 回	フロンティアと「明白なる運命」
第 5 回	奴隷制度と「南北戦争」
第 6 回	「日韓併合」におけるアメリカ合衆国の関わり
第 7 回	人種戦争としての「アジア太平洋戦争」
第 8 回	原爆投下をめぐる諸問題
第 9 回	占領政策と日米関係
第 10 回	日米関係と冷戦① 朝鮮半島分断の起源
第 11 回	日米関係と冷戦② 朝鮮半島核危機と日本
第 12 回	日米関係と冷戦③ ベトナム戦争
第 13 回	日米安保体制と沖縄
第 14 回	香港と米中対立の行方
第 15 回	まとめ
第 16 回	期末テスト

到達目標

本授業の最大の目的は、アメリカ合衆国の歴史に関する、基本事項を学ぶことを通じて、歴史を見る複眼的な思考を獲得することを目指します。よって、固有名詞や年号などを覚えることは第一義的な目的ではなく、アメリカ史を学ぶことを通じて、歴史学の意義や人文的なものの見方を養うことを主眼とします。また、後半には、朝鮮戦争やベトナム戦争など、日米関係をアジアでの文脈において学び、現在に至る問題の所在を探ることを目指します。

履修上の注意

履修：積極的に取り組む意思が求められます。出席・遅刻等の扱いは、大学の規定に準じます。授業：日本語で行います。適宜映像資料も取り入れます。また、本講義は、個人的な政治的見解を披歴する場ではなく、歴史学会の研究成果にもとづいた情報の提示と考察を行う場であることを念頭に受講すること。

予習・復習

授業内で適宜指示します。

評価方法

学期末筆記試験（満点 100 点）。授業内における取組も加味します。大学既定の出席回数を満たさない場合は、期末試験受験資格を喪失します。

テキスト

特にテキストは使用しませんが、以下の書物を参考資料として挙げておきます。

- ・書名：『アメリカ西漸史ー“明白なる運命”とその未来』
- ・著者名：ブルース・カミングス
- ・出版社名：東洋書林
- ・出版年 (ISBN)：2013 年 (978-4-88721-806-2)